

第6章

分析支援プログラムで見られる傾向

「分析支援プログラム」を使って、児童生徒質問紙調査から見られる全県の傾向を調べました。また、教科に関する調査のデータも併せて分析しました。

各学校においても、自校の分析結果を全県の傾向と比較したり、自校の研究の成果を検証したりするなど、分析支援プログラムを幅広くご活用ください。



1「教師との関係」と「自分に対する考え」分析と傾向

【概要】

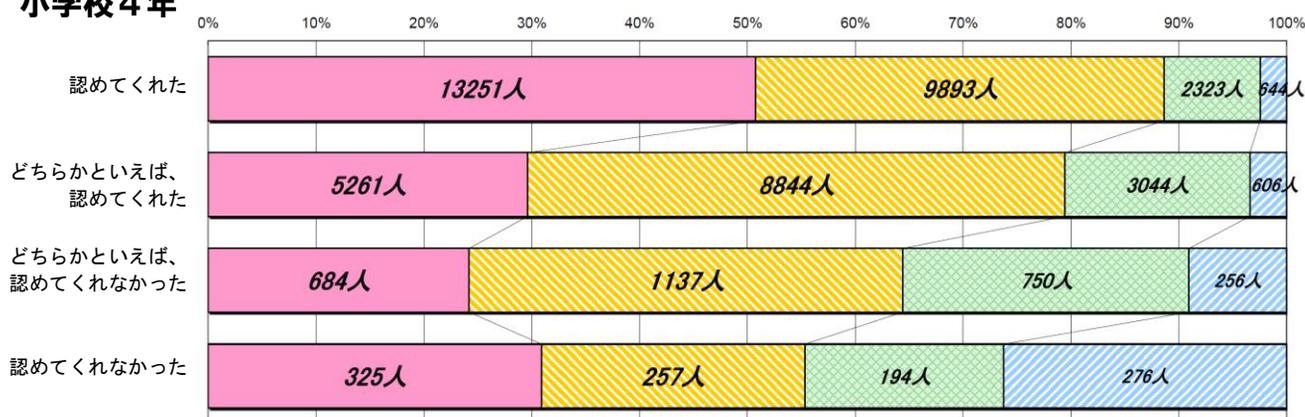
教師が「認めてくれた」という実感を持つ子供ほど、自分自身について「難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している」「どちらかといえば、している」と肯定的に回答する傾向が見られる。

また、児童生徒の多くは、教師から認められていることに対して肯定的に回答している。

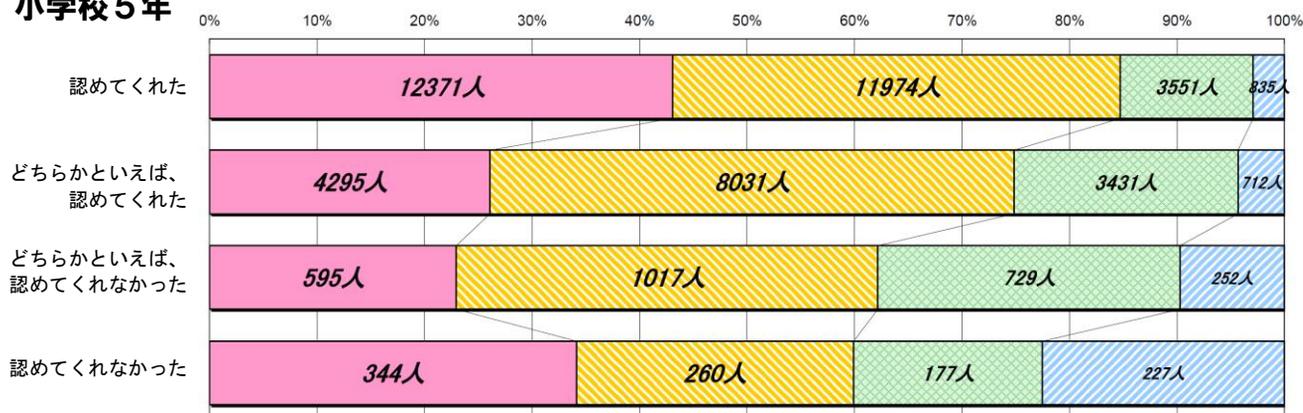
縦軸カテゴリー	学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか。
横軸カテゴリー	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。

□している □どちらかといえば、している □どちらかといえば、していない □していない

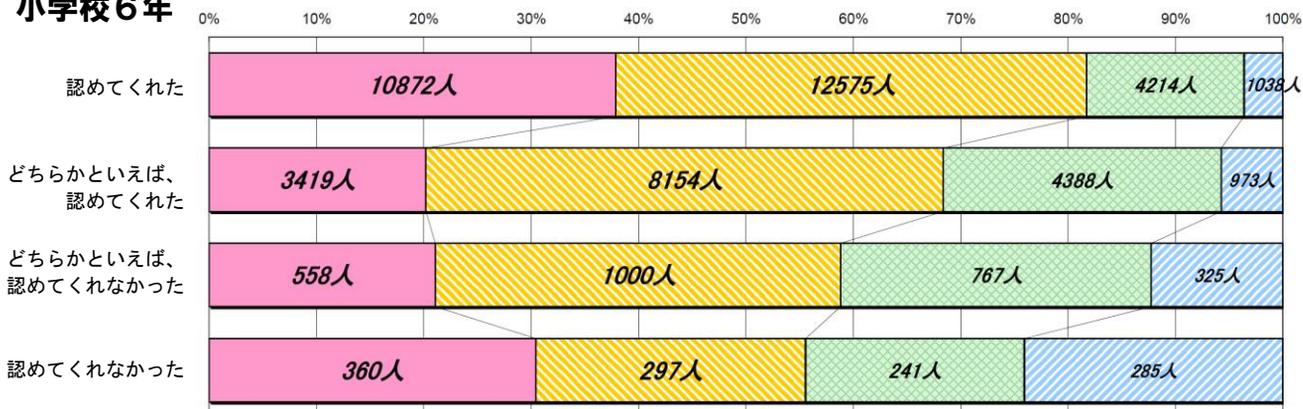
小学校4年



小学校5年



小学校6年



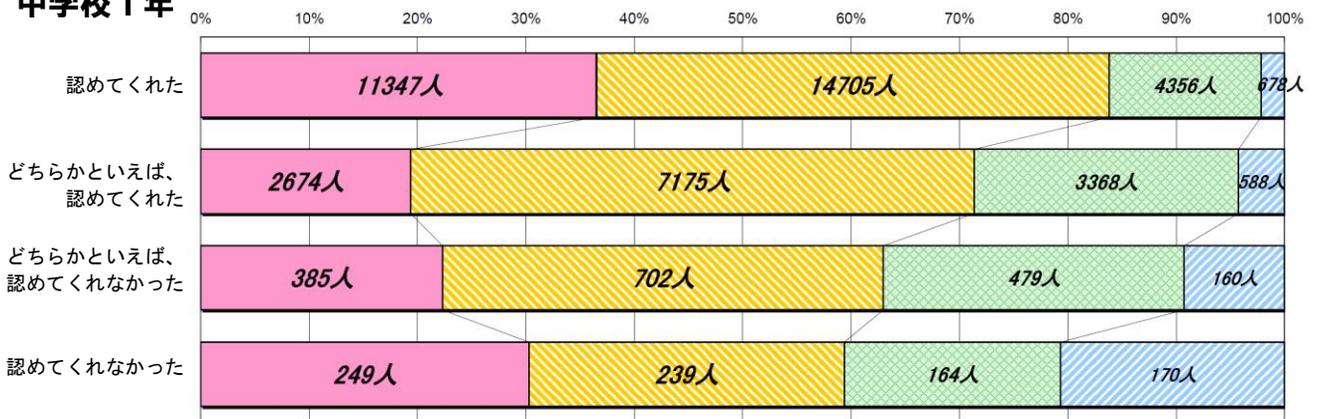
【先生方へのメッセージ】

- 子供たちは自分の努力やよさを認められたり、ほめられたりすることによって、自己有用感や自信を高めていきます。
- 一人一人の子供たちに自信を持たせる言葉かけを、継続的に行いましょう。
- 子供が挑戦したときに、結果だけでなく過程を振り返らせたり認めたりして、次につなげる意識を持たせることが大切です。

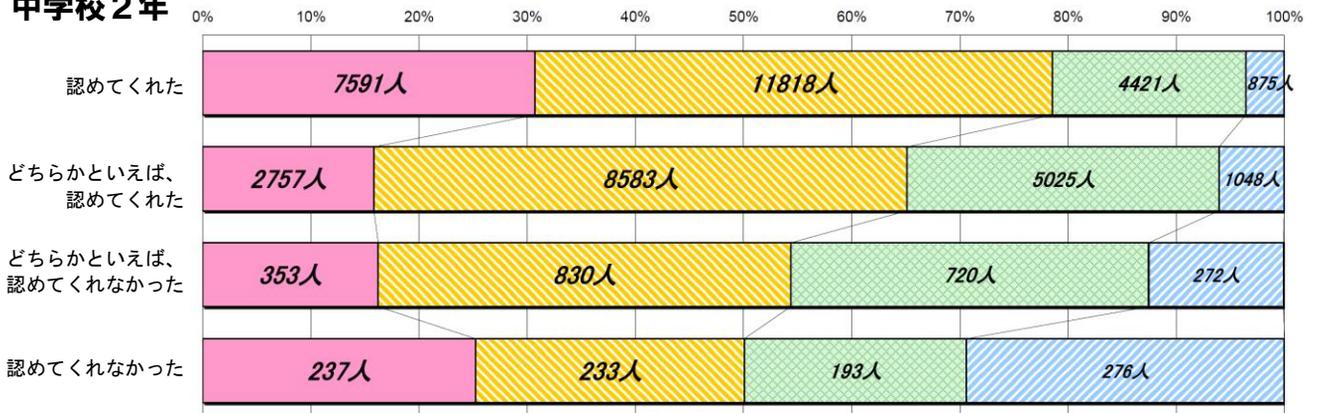
縦軸カテゴリ	学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか。
横軸カテゴリ	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。

□している □どちらかといえば、している □どちらかといえば、していない □していない

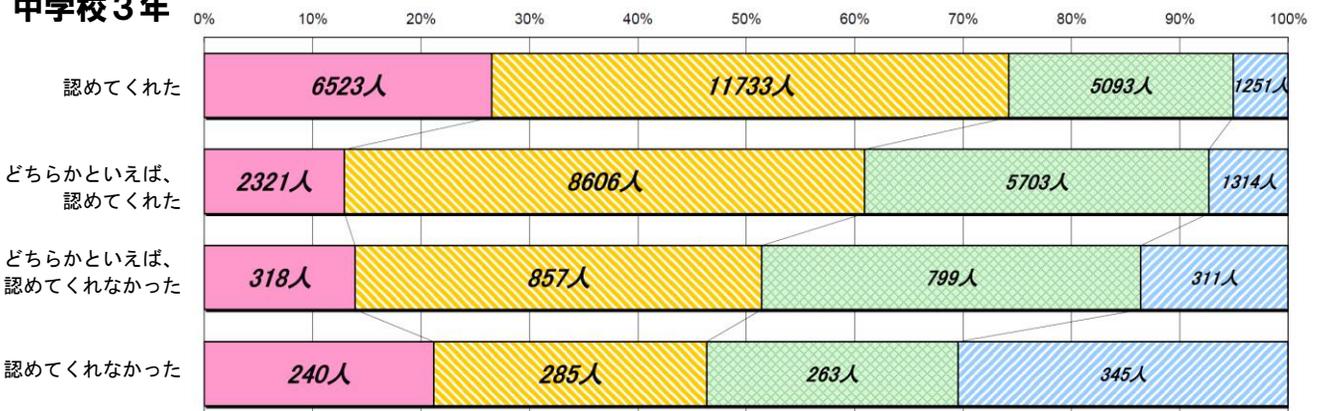
中学校 1年



中学校 2年



中学校 3年



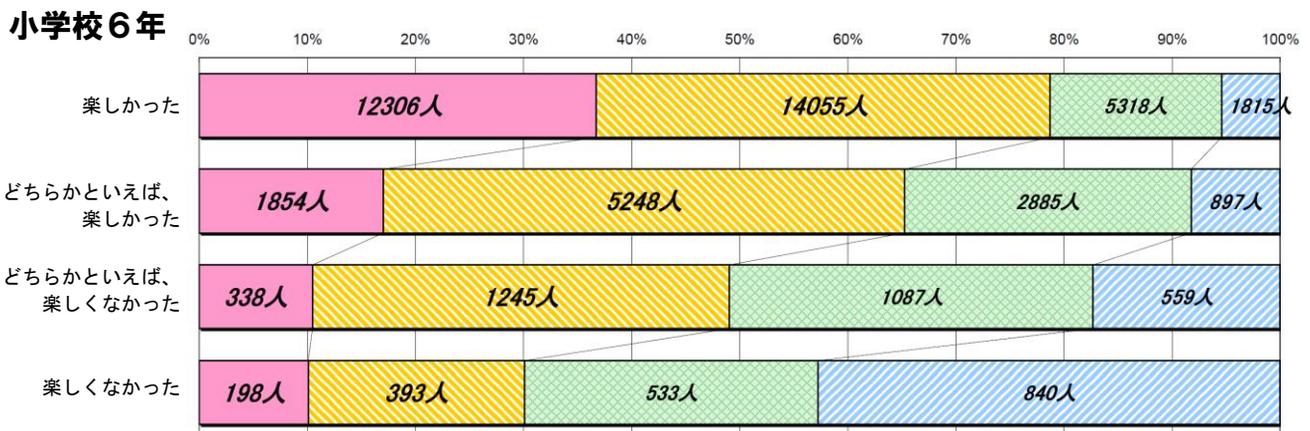
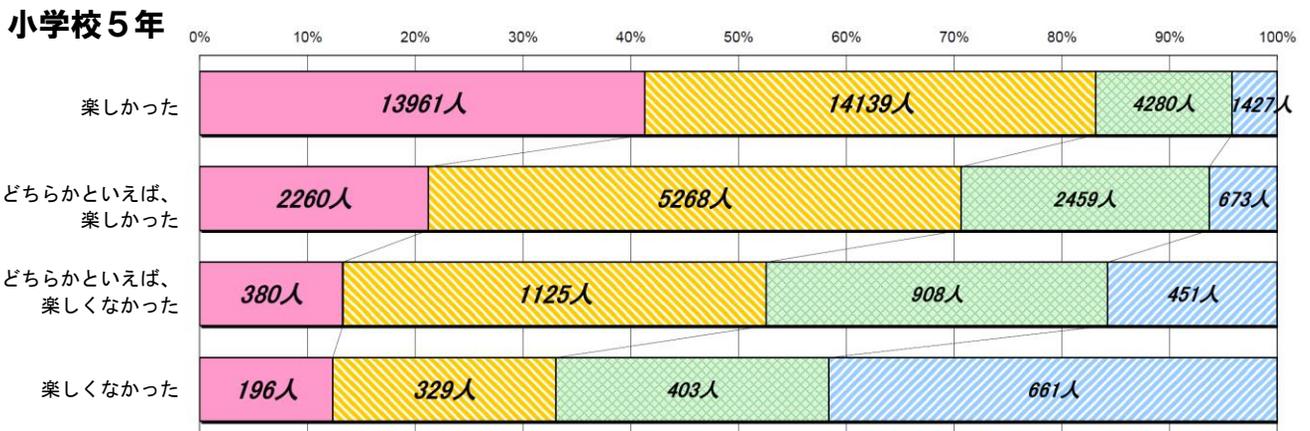
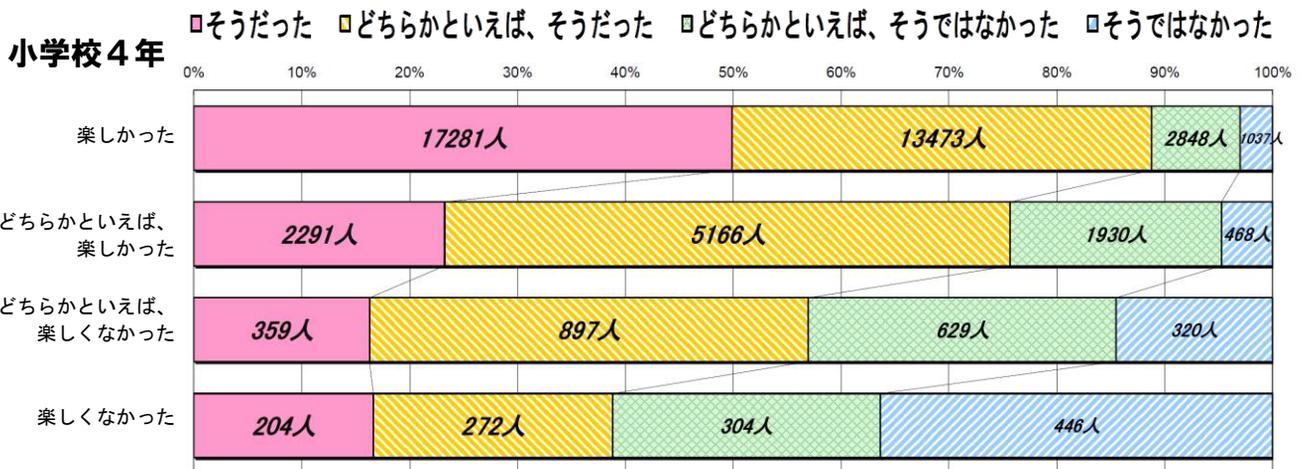
2「学級の雰囲気」と「学習の様子」分析と傾向

【概要】

「学級の生活が楽しかった」と回答する児童生徒ほど、学級は落ち着いて学習する様子であったと捉えている傾向がある。

また、「学級での生活が楽しかった」「どちらかといえば楽しかった」と回答した児童生徒は、小中学校ともに学年が上がるにつれて、減少している傾向がある。

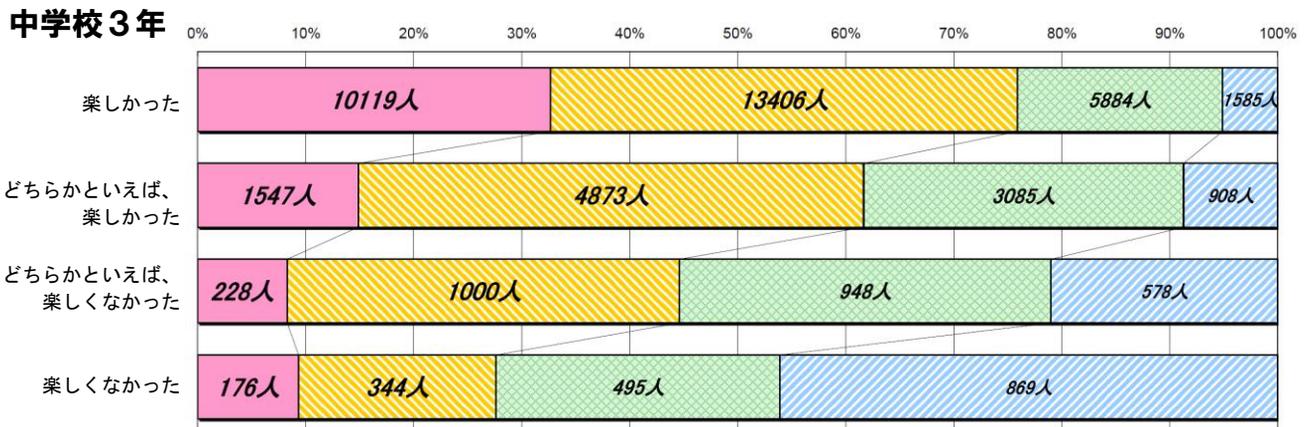
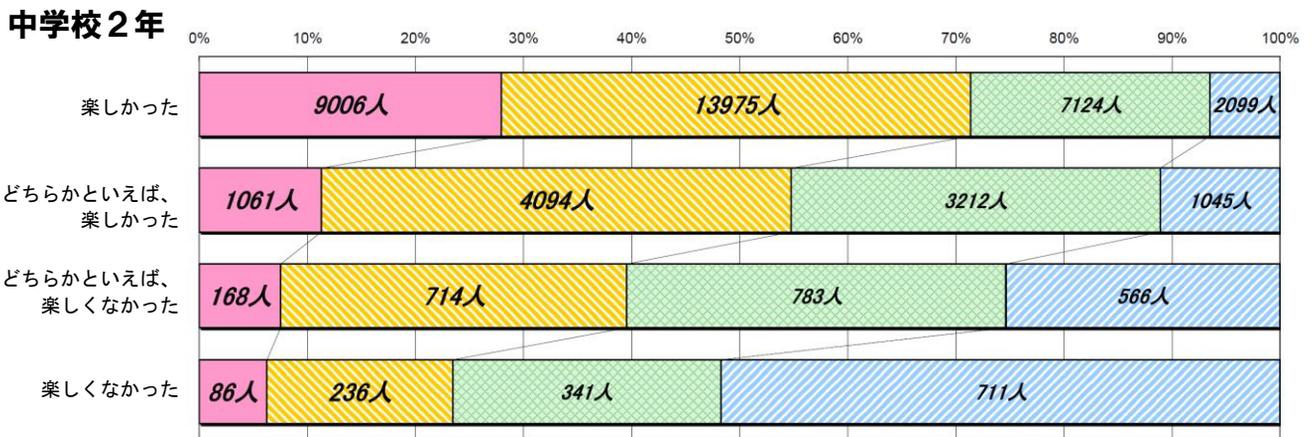
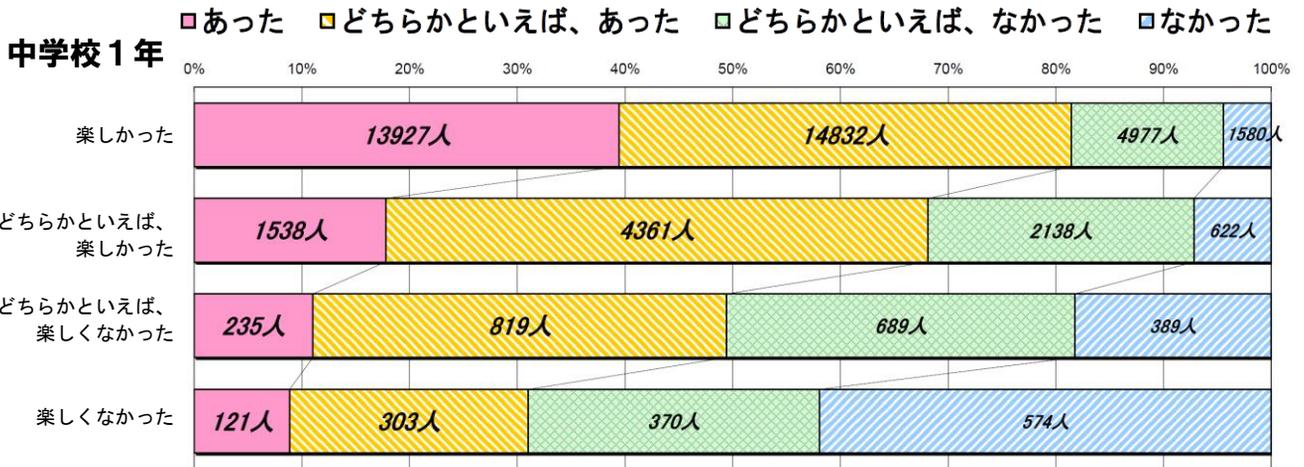
縦軸カテゴリー	学級での生活は楽しかったですか。
横軸カテゴリー	学級は落ち着いて学習する様子でしたか。



【先生方へのメッセージ】

- 自分の居場所があり安心して生活できる学級は、子供たちの心を安定させ、じっくり落ち着いて学習する雰囲気醸成します。
- 学級づくりの充実は、学力向上にも効果があります。子供たちが「楽しい」と感じる学級づくりに日々取り組みましょう。その際、学校の「よい取組」から共有することや、伸びが見られた効果的な取組をまとめた、県学調の「活用リーフレット」などを参考にしましょう。

縦軸カテゴリ	学級での生活は楽しかったですか。
横軸カテゴリ	学級は落ち着いて学習する雰囲気がありましたか。



3 「学習意欲」と「各教科の学力」分析と傾向

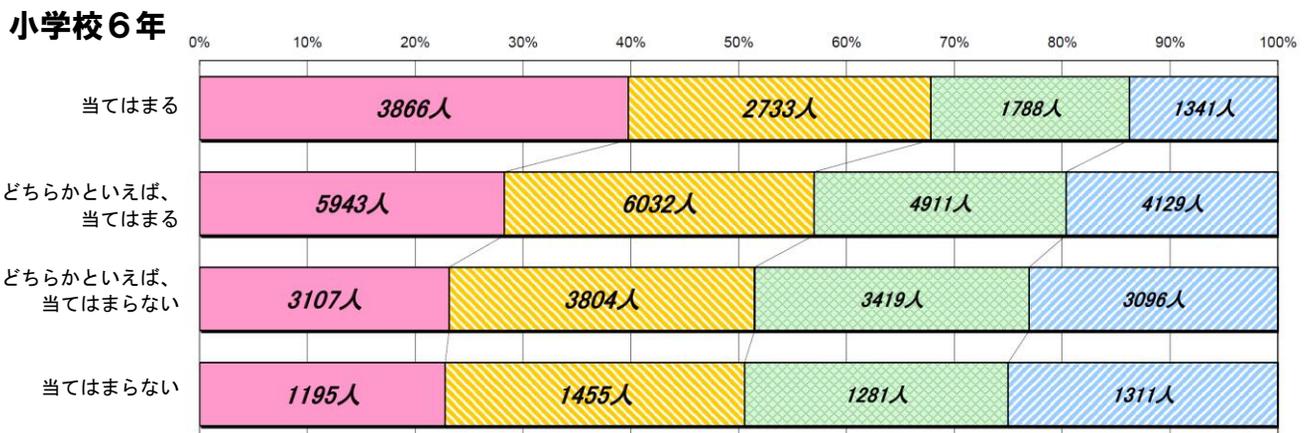
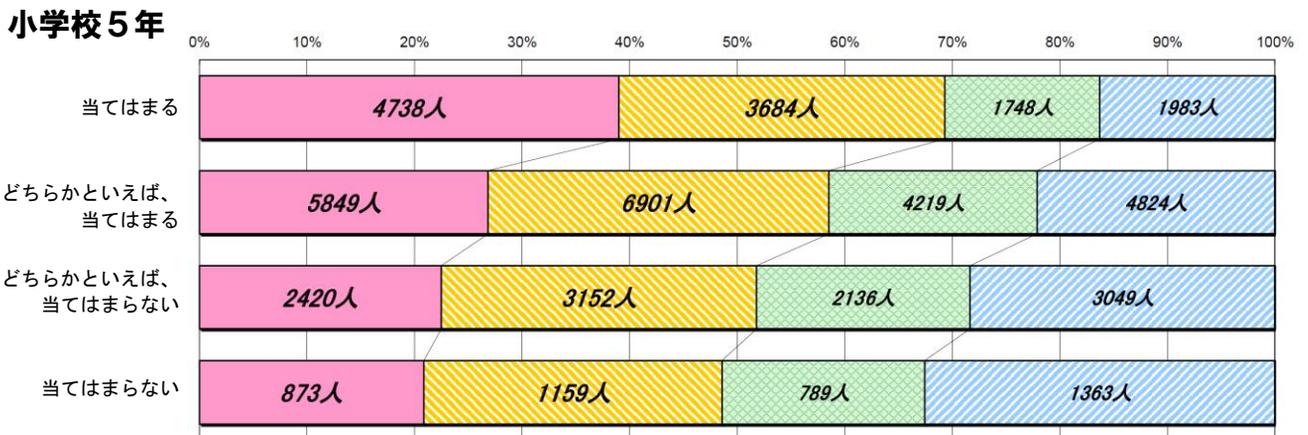
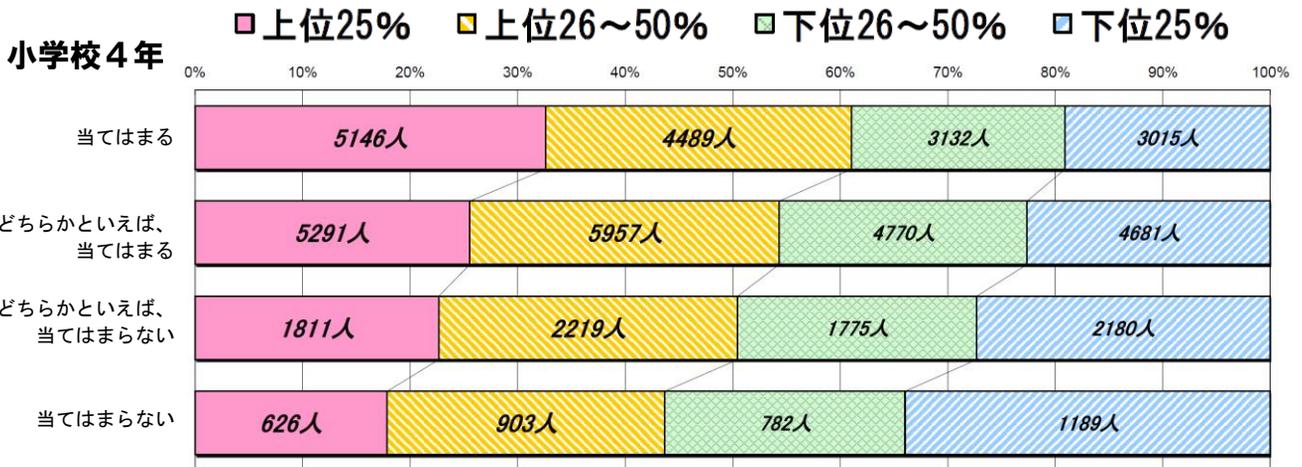
【概要】

勉強する理由に対して「勉強することが楽しい、好きだから」に「当てはまる」と回答した児童生徒ほど学力が高い傾向が「国語」「算数・数学」「英語」の全てに共通して見られる。

小学校よりも中学校で、肯定的な回答をした生徒の方が、学力が高い傾向にある。

また、「当てはまる」と回答した児童生徒は、学年が上がるにつれて減少している。

縦軸カテゴリ	【勉強する理由について、どのように考えていますか】《勉強することが楽しい、好きだから》
横軸カテゴリ	学力階層 国語



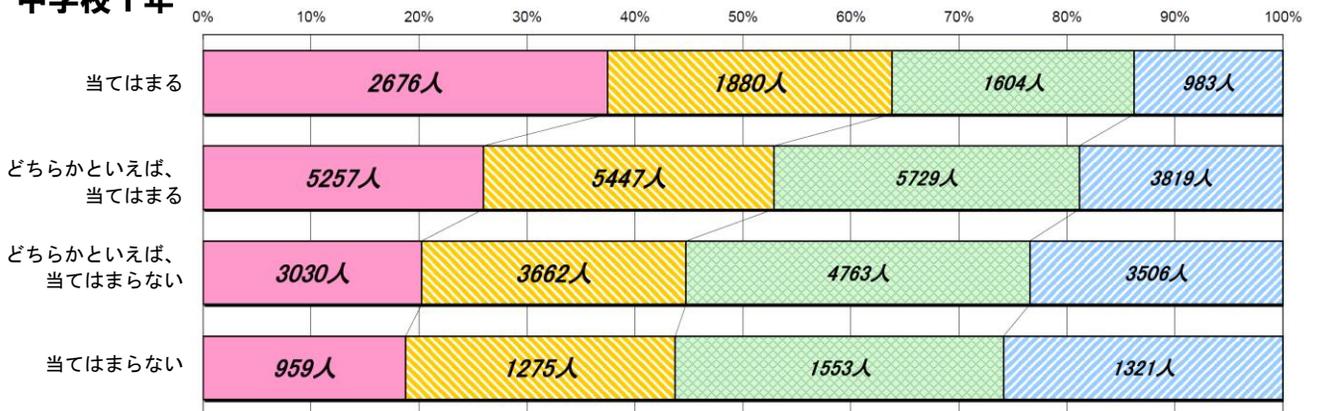
【先生方へのメッセージ】

- 児童生徒が「勉強が楽しい」「勉強がすき」というためには、毎回の授業を充実させることが何より必要です。授業の質を高めましょう。
- 学級の児童生徒が、どのようなときに「勉強が楽しい」「勉強が好き」と感じるのかを把握し、授業改善や学級経営に生かしましょう。
- 一人一人の「伸び」を児童生徒本人や保護者、学年などで共有するとともに、その「伸び」を共に喜び合いましょう。

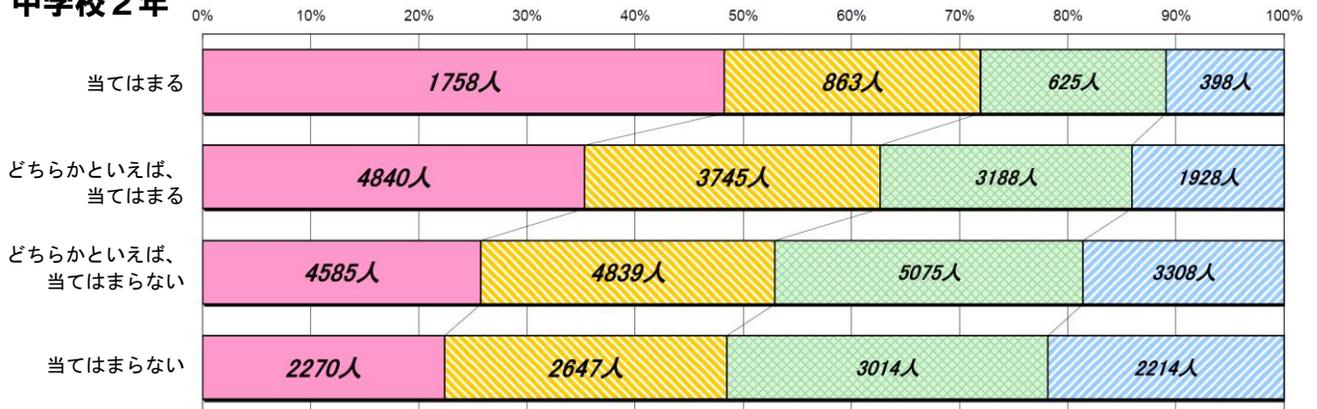
縦軸カテゴリ	【勉強する理由について、どのように考えていますか】《勉強することが楽しい、好きだから》
横軸カテゴリ	学力階層 国語

■ 上位25% ■ 上位26～50% ■ 下位26～50% ■ 下位25%

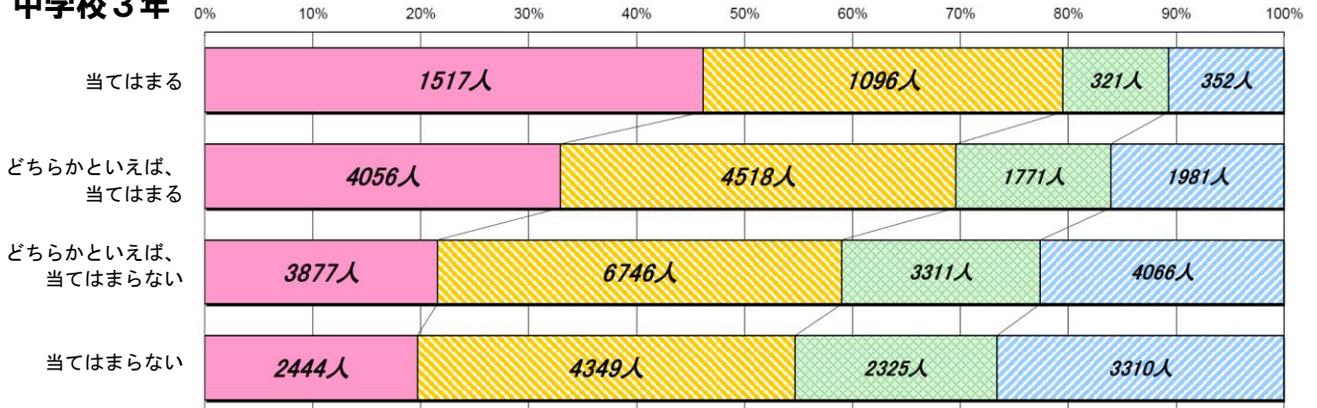
中学校 1年



中学校 2年



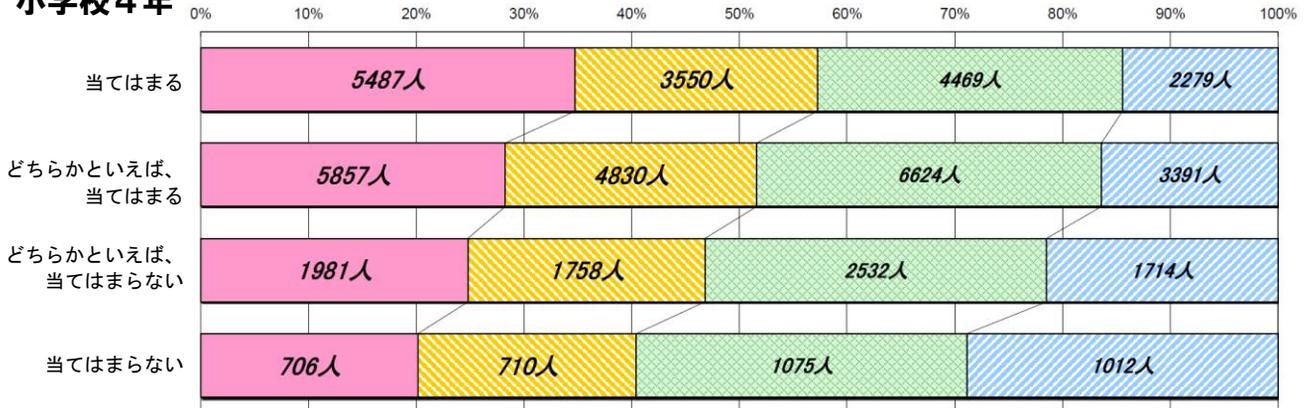
中学校 3年



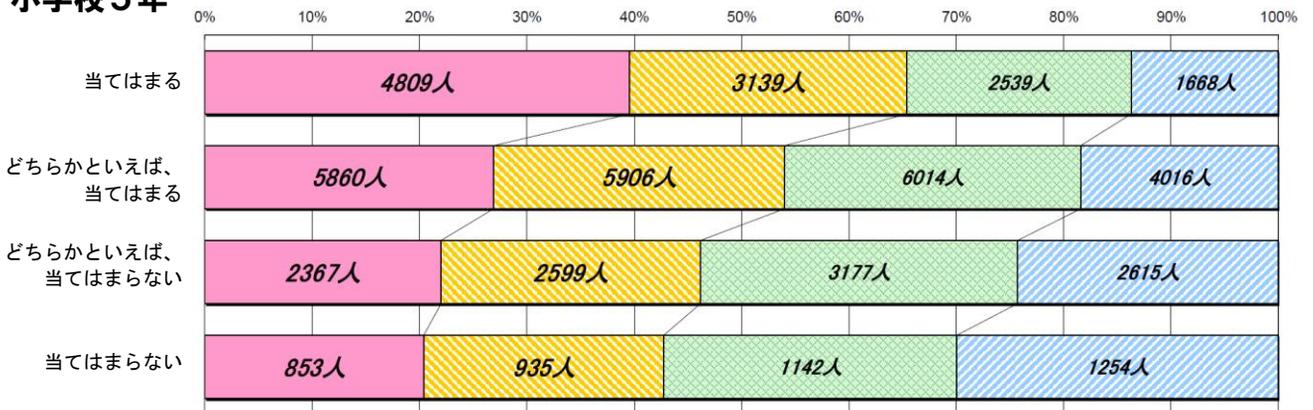
縦軸カテゴリ	【勉強する理由について、どのように考えていますか】《勉強することが楽しい、好きだから》
横軸カテゴリ	学力階層 算数・数学

■ 上位25%
 ■ 上位26~50%
 ■ 下位26~50%
 ■ 下位25%

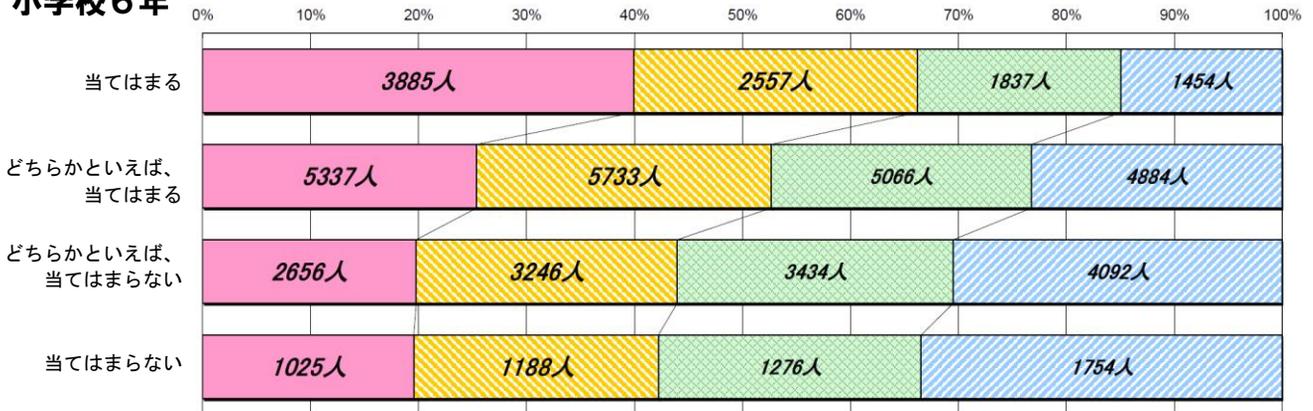
小学校4年



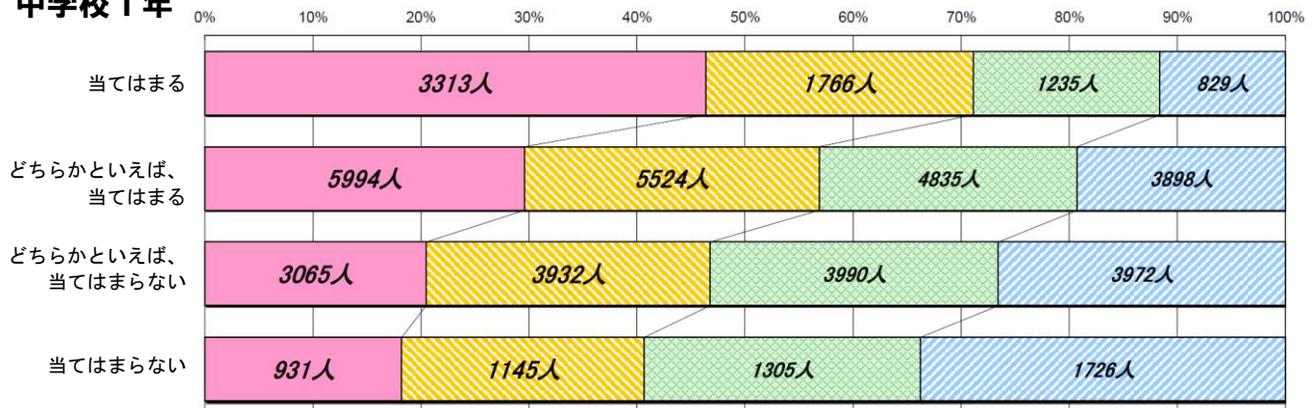
小学校5年



小学校6年

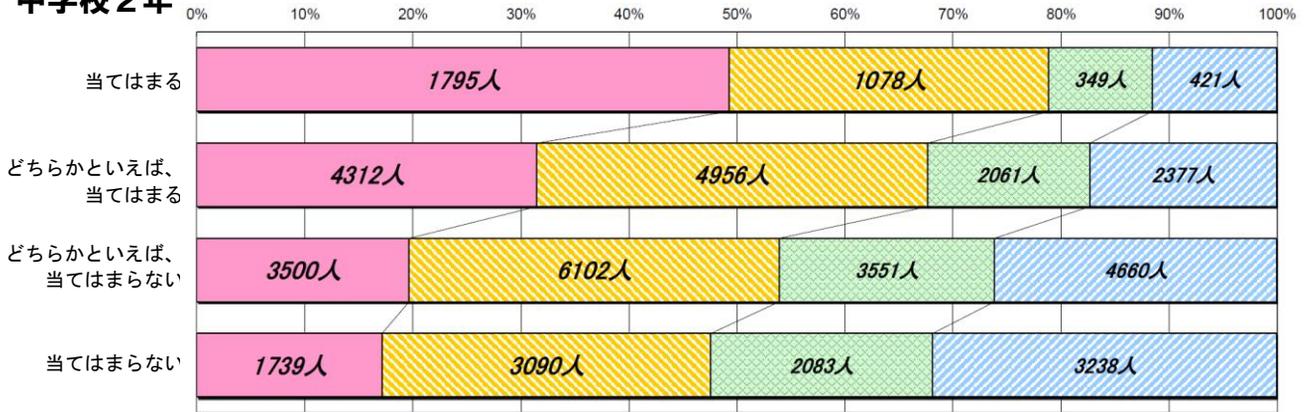


中学校1年

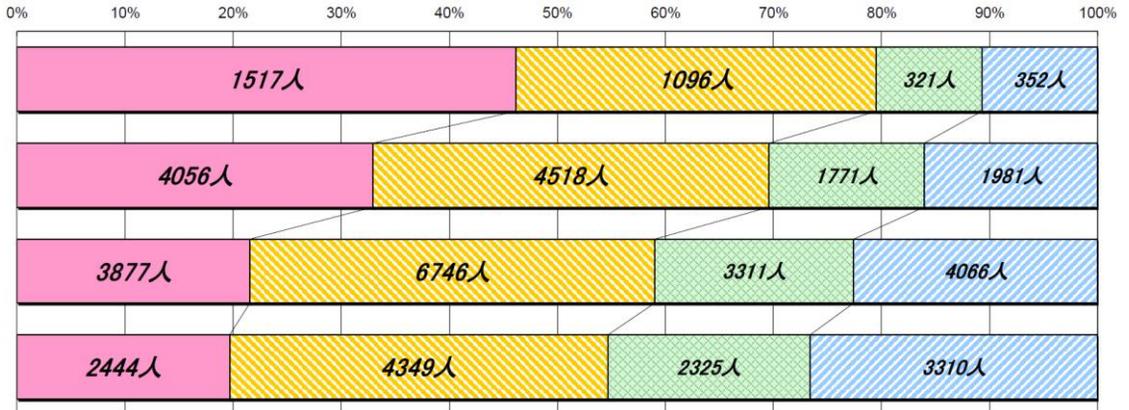


中学校 2年

■ 上位25% ■ 上位26~50% ■ 下位26~50% ■ 下位25%



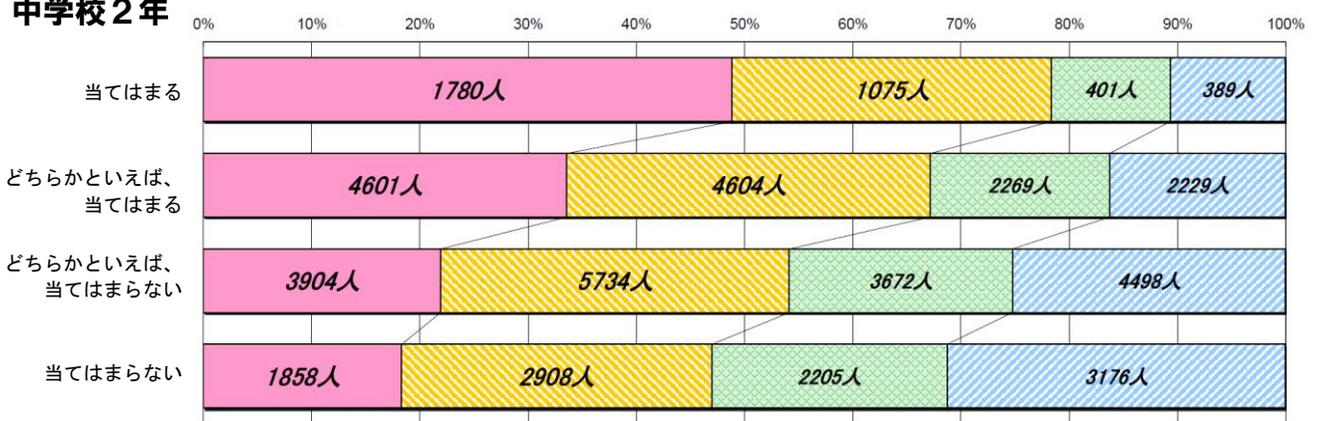
中学校 3年



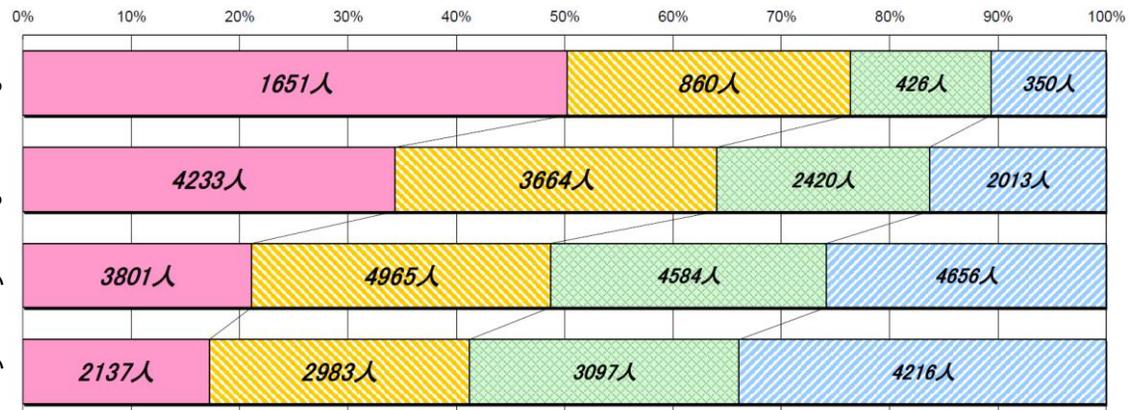
縦軸カテゴリ	【勉強する理由について、どのように考えていますか】《勉強することが楽しい、好きだから》
横軸カテゴリ	学力階層 英語

中学校 2年

■ 上位25% ■ 上位26~50% ■ 下位26~50% ■ 下位25%



中学校 3年



4 「AL」と「各教科の学力」分析と傾向

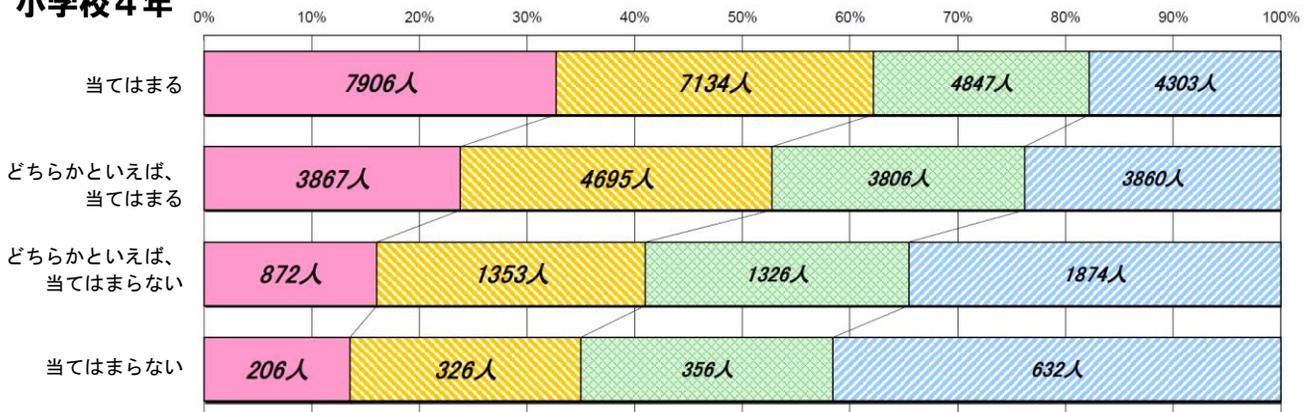
【概要】

「授業で課題を解決するときに、みんなでいろいろな考えを発表すること」の質問について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の方が、比較的学力が高い傾向が見られる。この傾向は、「国語」「算数・数学」「英語」の全ての教科について、共通している。

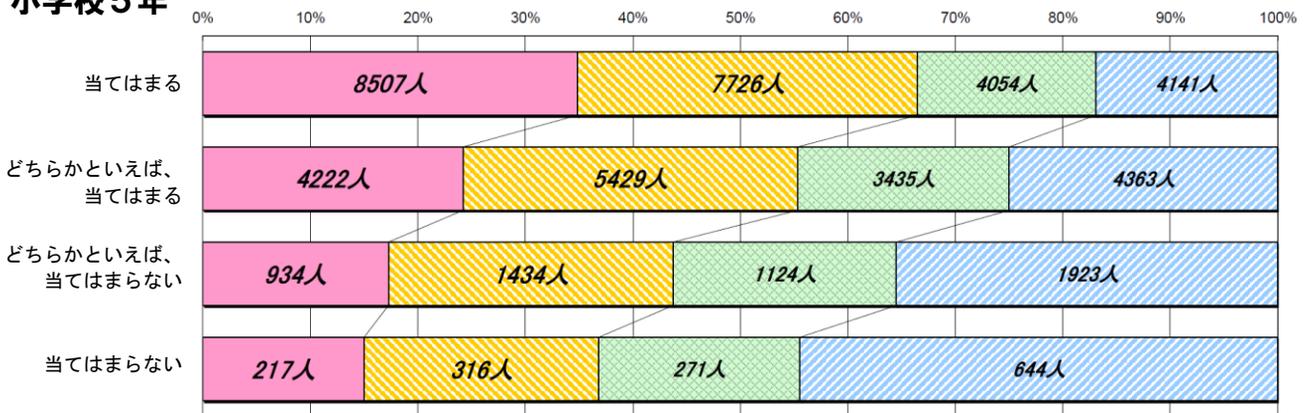
縦軸カテゴリー	授業で課題を解決するときに、みんなでいろいろな考えを発表すること
横軸カテゴリー	学力階層 国語

■ 上位25%
 ■ 上位26～50%
 ■ 下位26～50%
 ■ 下位25%

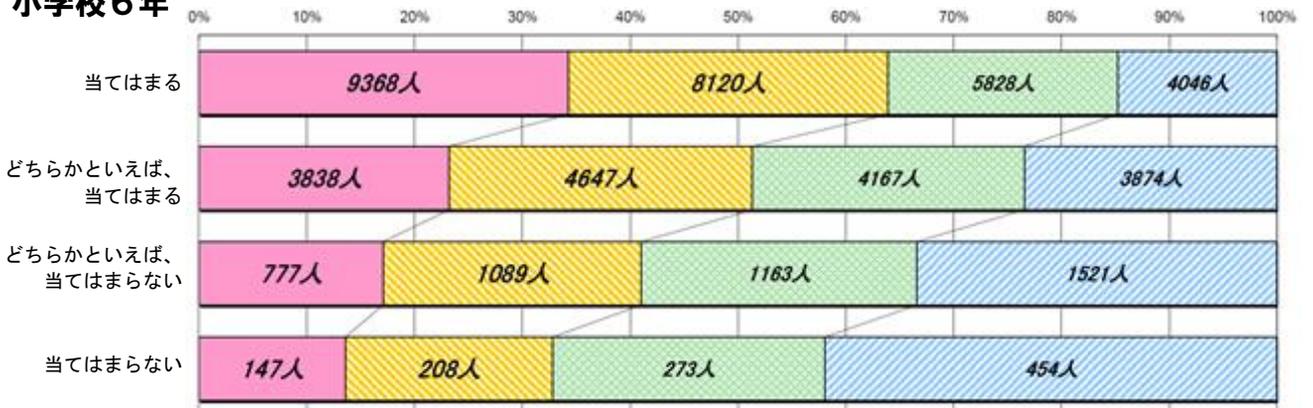
小学校4年



小学校5年



小学校6年



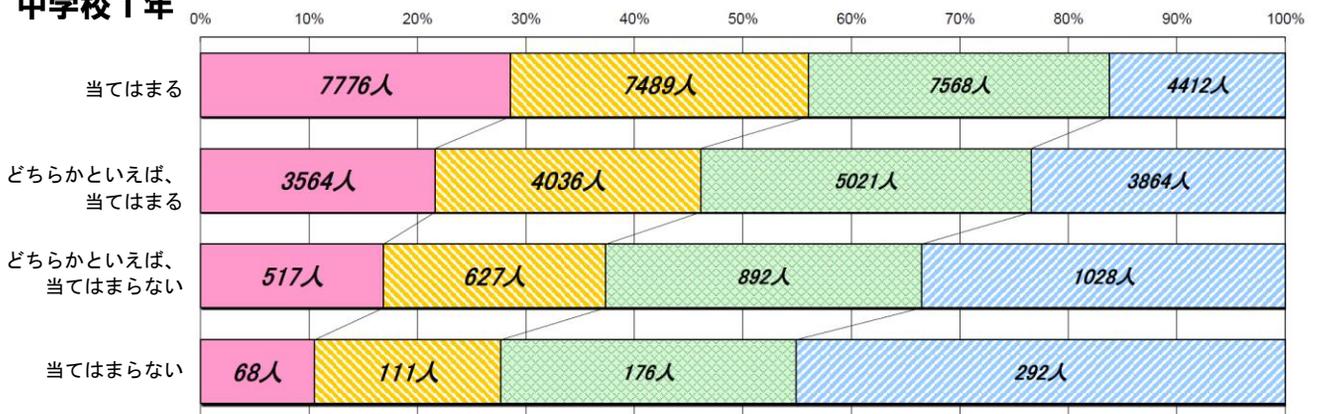
【先生方へのメッセージ】

- 課題解決的な学習においては、いろいろな考えをお互いに発表し合う場面を設けることなどにより、多面的に物事を見る力を養うことができます。
- 目的や意図、発達の段階等に応じて、ペアやグループ、学級全体などで考えを発表したり、考えを深めたりする場面を適切に設定しましょう。
- 「振り返り」の時間を確保することで、児童生徒の考えを広げたり、変容したりしたことを確実に見取ることも重要です。

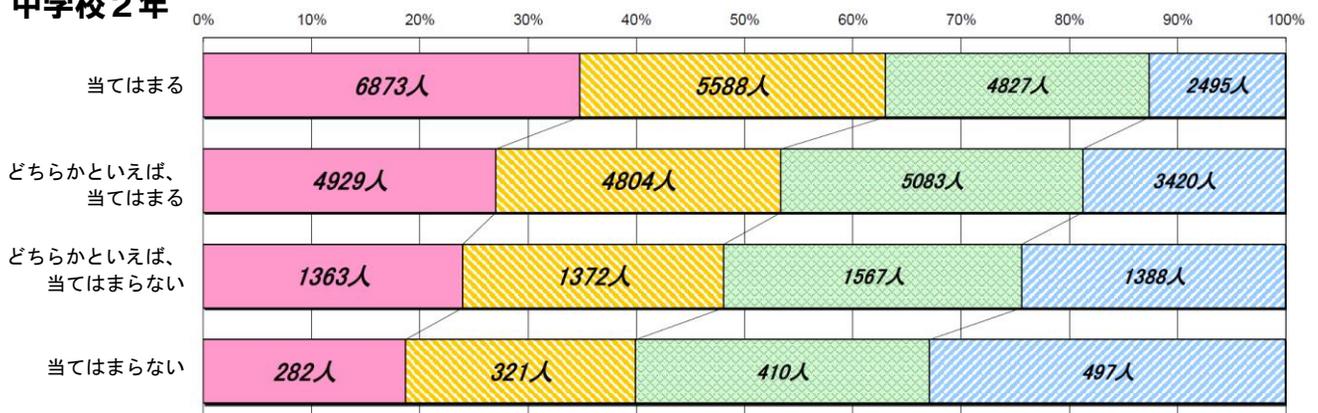
縦軸カテゴリ	授業で課題を解決するときに、みんなでいろいろな考えを発表すること
横軸カテゴリ	学力階層 国語

□ 上位25% □ 上位26～50% □ 下位26～50% □ 下位25%

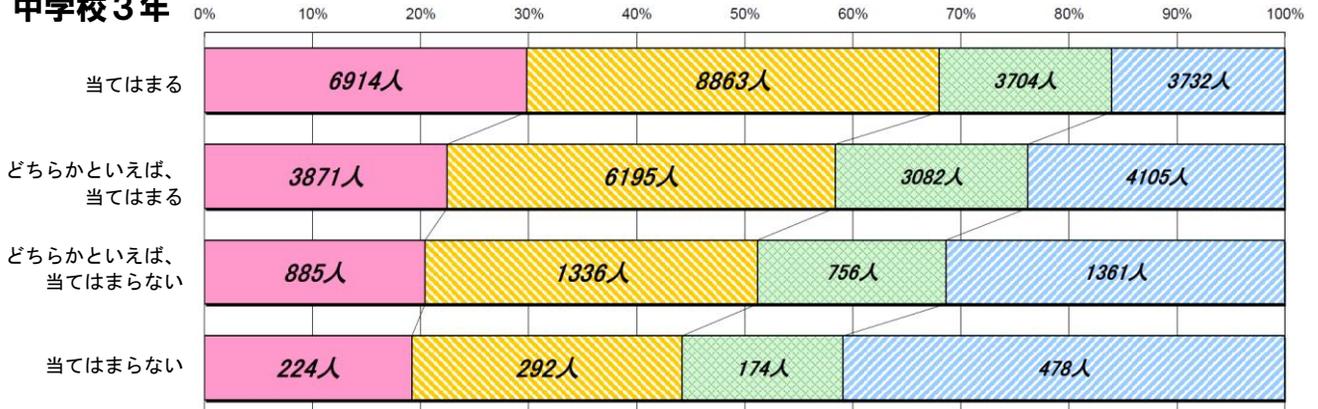
中学校 1年



中学校 2年



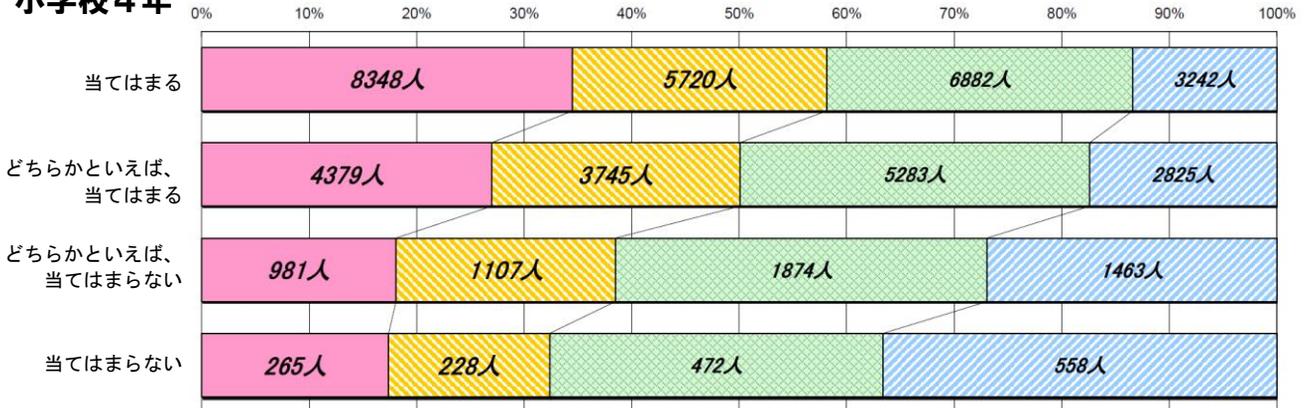
中学校 3年



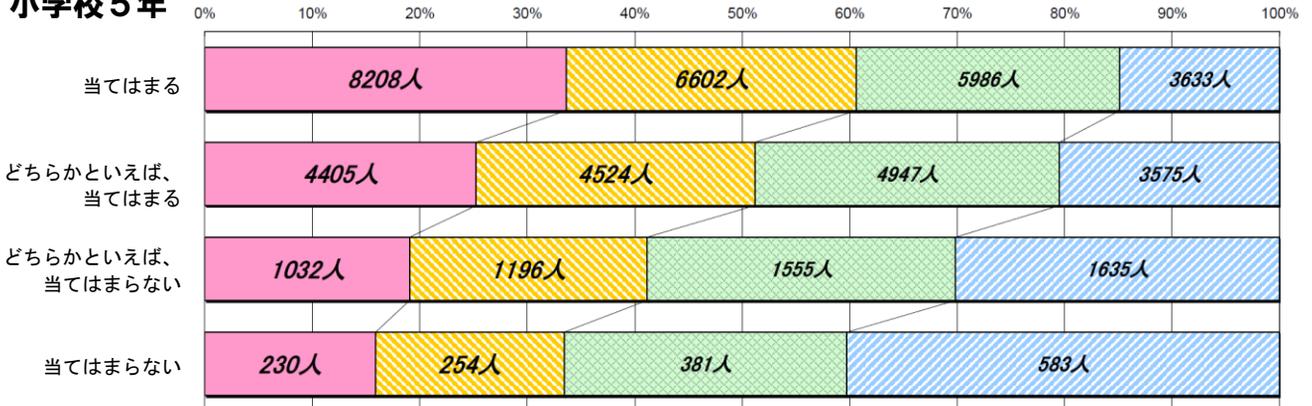
縦軸カテゴリー	授業で課題を解決するときに、みんなでいろいろな考えを発表すること
横軸カテゴリー	学力階層 算数・数学

■ 上位25%
 ■ 上位26～50%
 ■ 下位26～50%
 ■ 下位25%

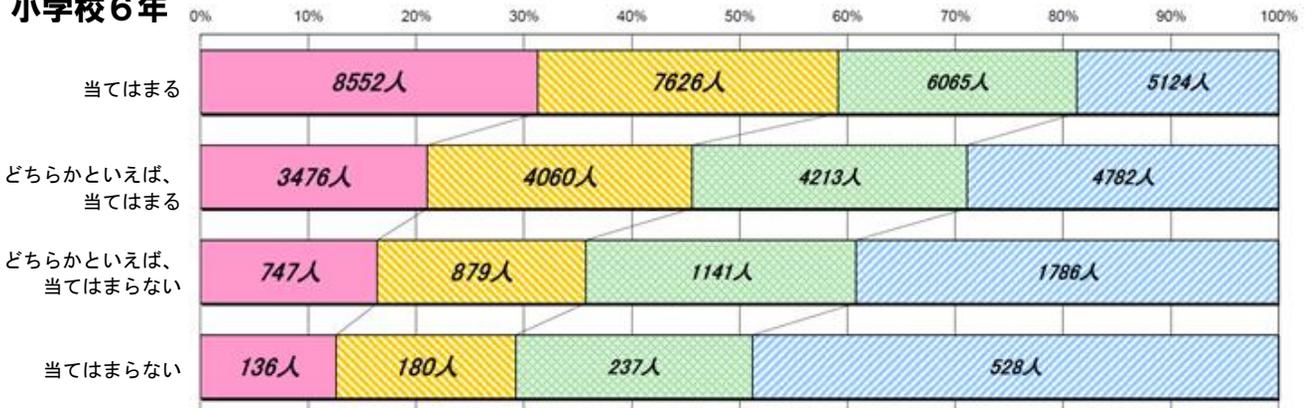
小学校4年



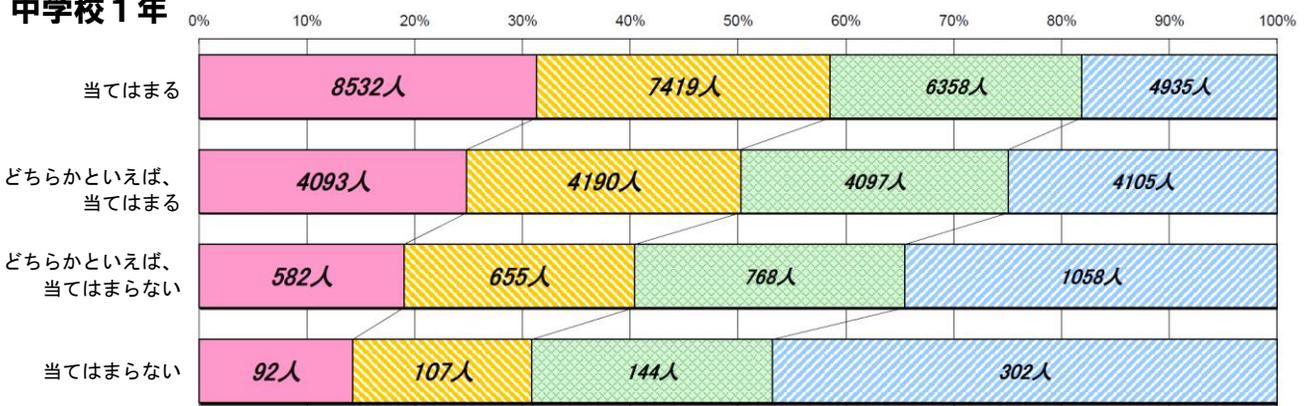
小学校5年

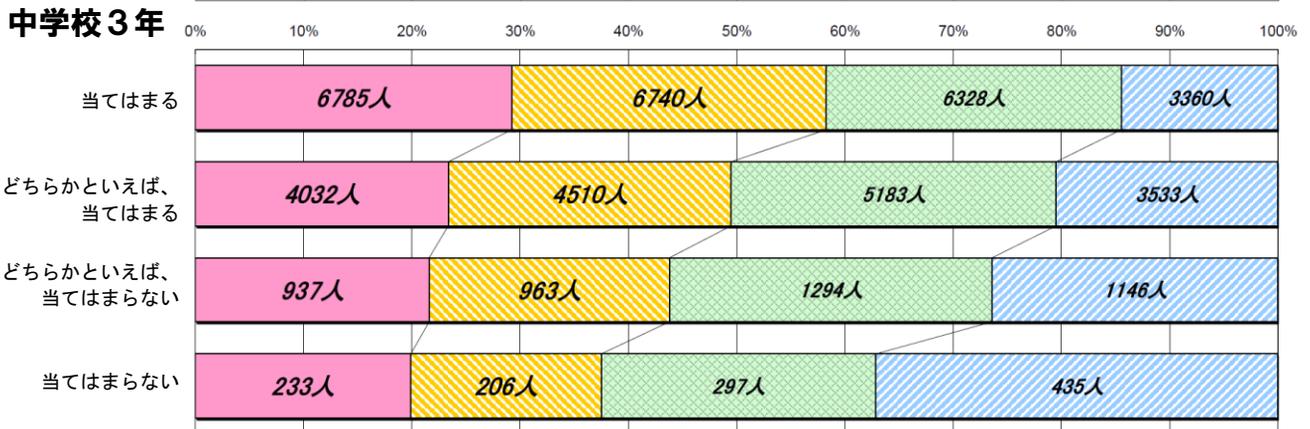
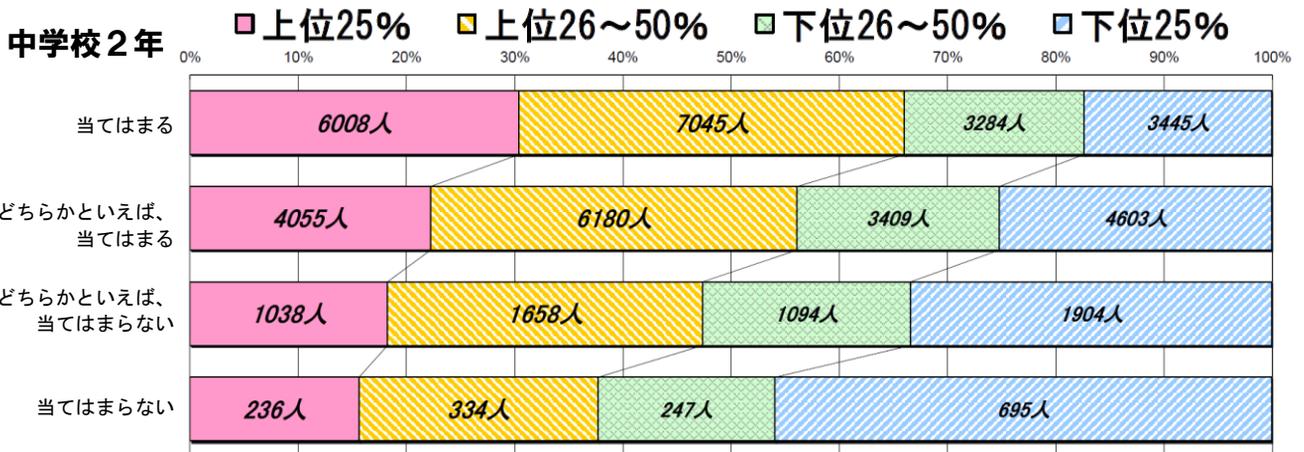


小学校6年

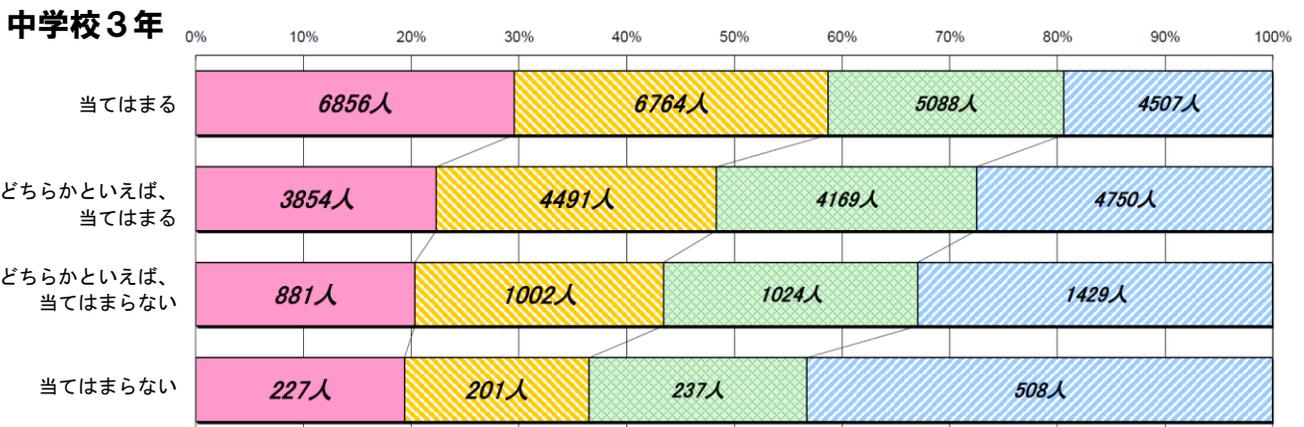
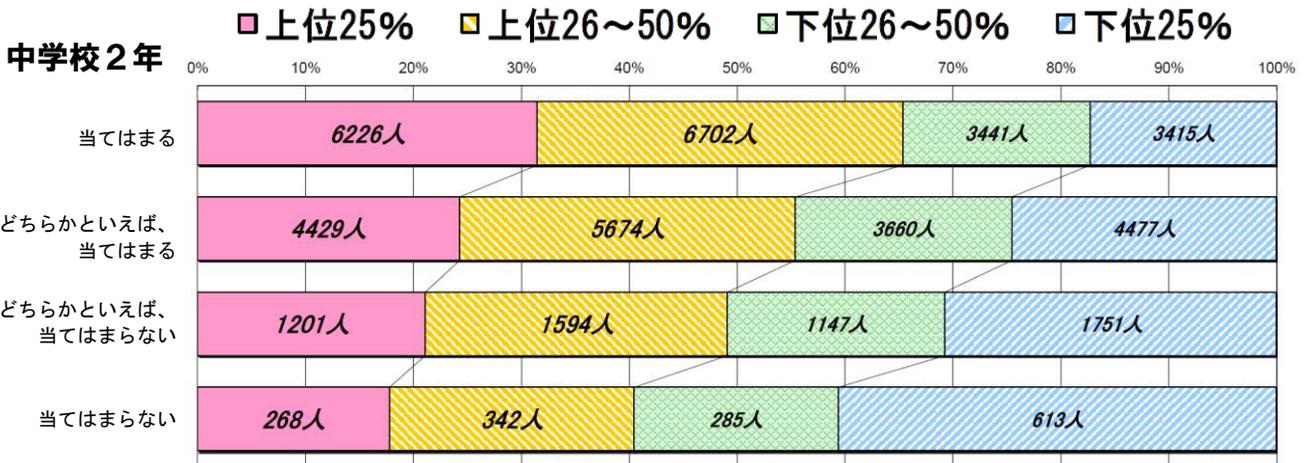


中学校1年





縦軸カテゴリー	授業で課題を解決するときに、みんなでいろいろな考えを発表すること
横軸カテゴリー	学力階層 英語



5「家庭での生活習慣」と「各教科の学力」分析と傾向

【概要】

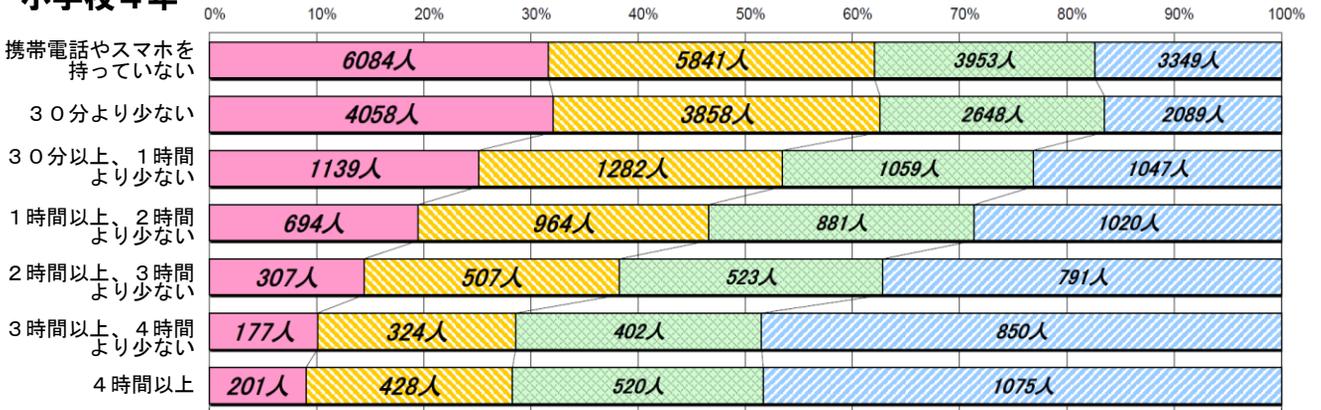
携帯電話やスマートフォンを持っている児童生徒では、通話やメール、インターネットをする時間が長いほど、学力が低くなる割合が高い傾向が見られる。

普段(月～金)の日でも、平均4時間以上の通話やメール、インターネットをしている児童・生徒が相当数いる。また、携帯電話やスマートフォンを持っていない児童生徒は、学年が上がるとともに少なくなっている。

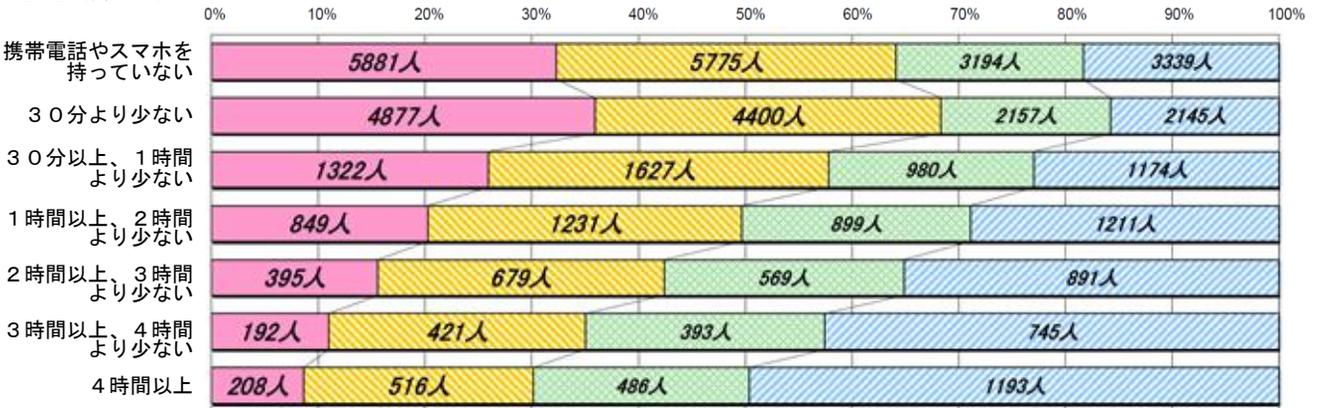
縦軸カテゴリー	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをしますか。
横軸カテゴリー	学力階層 国語

■ 上位25% ■ 上位26～50% ■ 下位26～50% ■ 下位25%

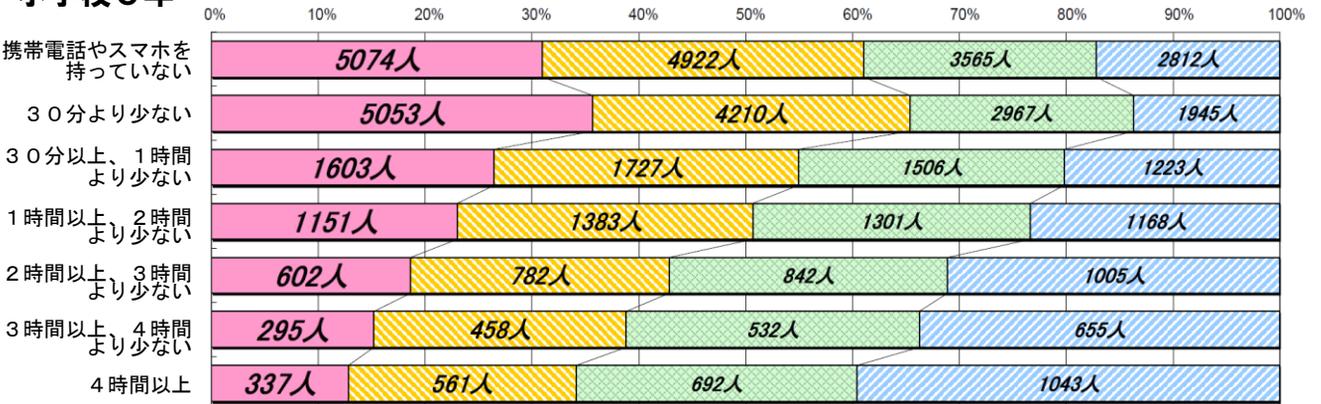
小学校4年



小学校5年



小学校6年



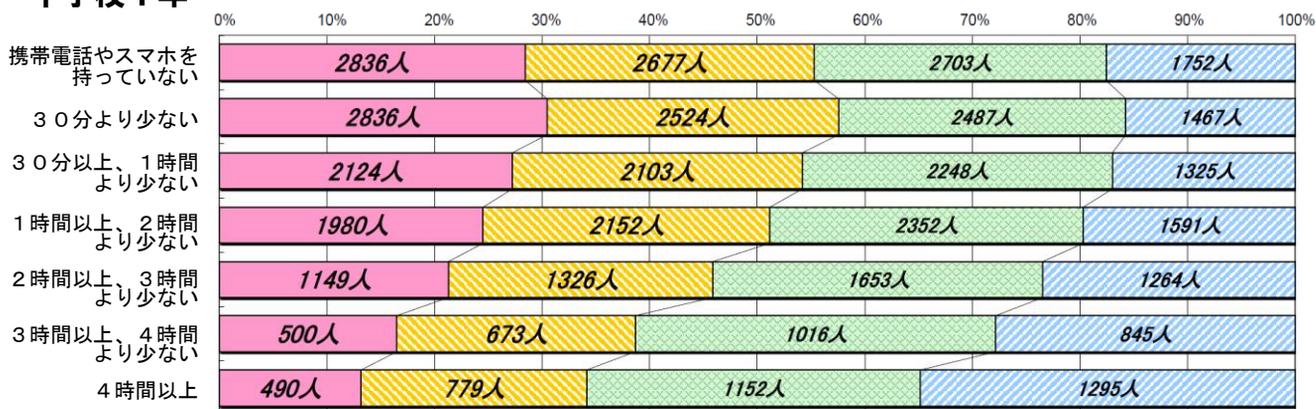
【先生方へのメッセージ】

- 児童生徒が家庭での学習習慣を自分一人で作り上げるのは難しいことです。学校と家庭が連携し、児童生徒が生活習慣を見直すきっかけ作りをしていきましょう。
- インターネット等を使う時間について約束するときは、家庭内で話し合って約束を決めることが大切です。約束をする必要性についても確認することで、児童生徒が主体的に約束を守ろうとする態度を育むことにつながります。

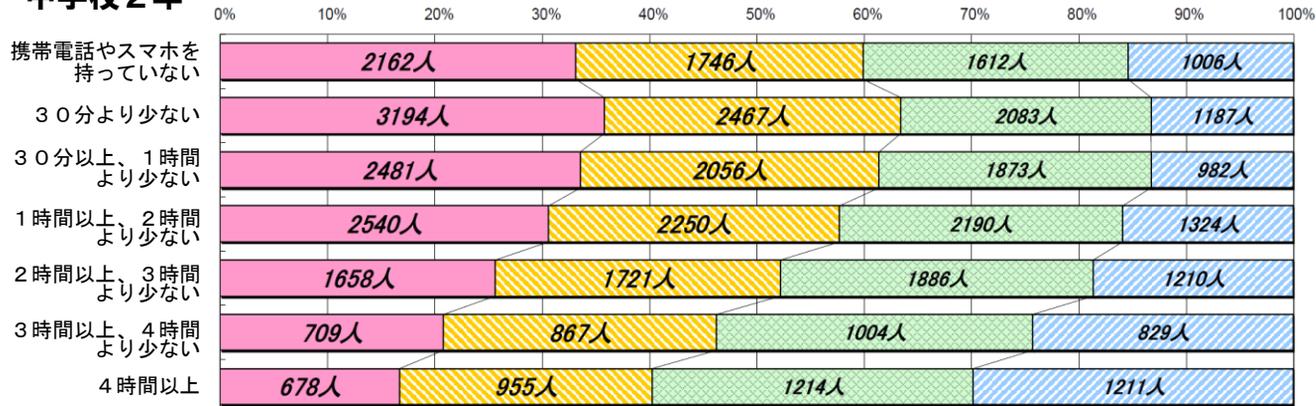
縦軸カテゴリー	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをしますか。
横軸カテゴリー	学力階層 国語

■ 上位25%
 ■ 上位26～50%
 ■ 下位26～50%
 ■ 下位25%

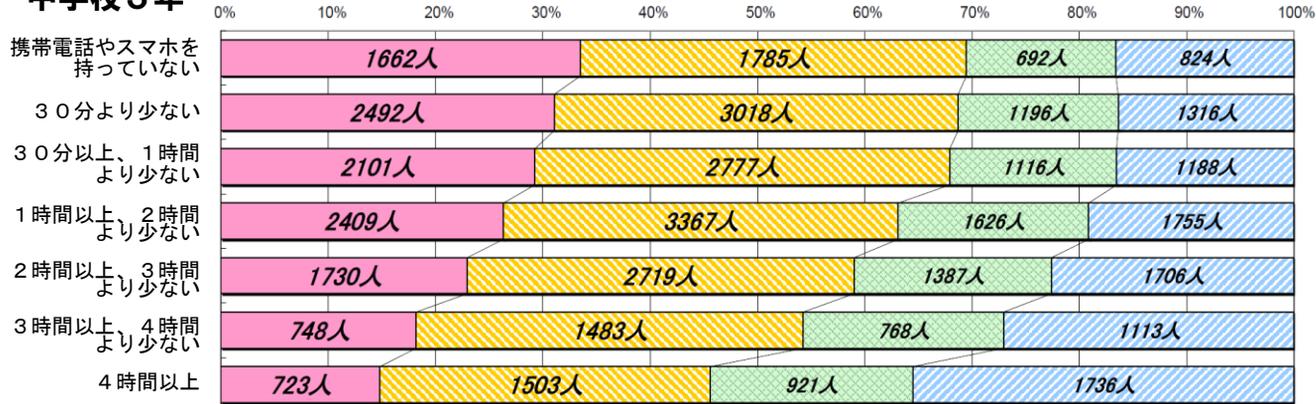
中学校 1年



中学校 2年



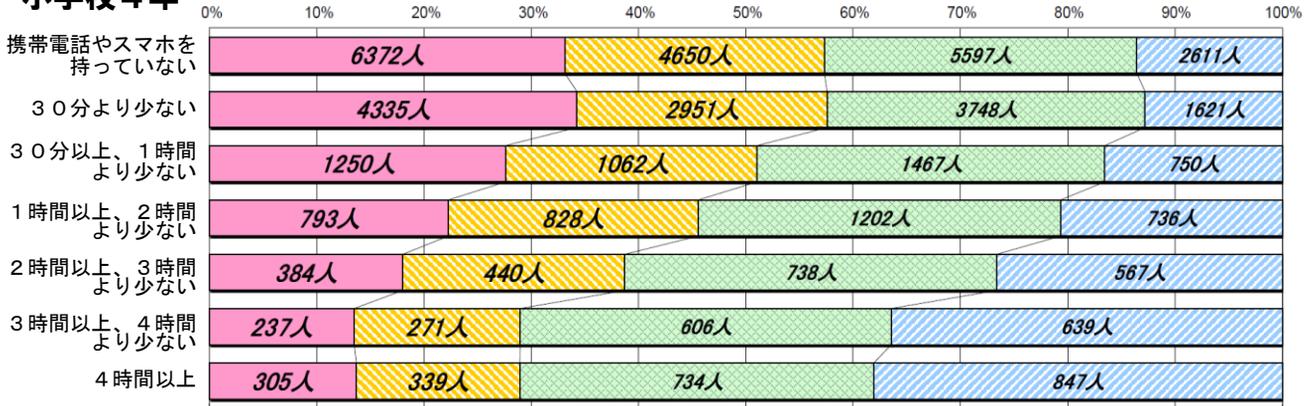
中学校 3年



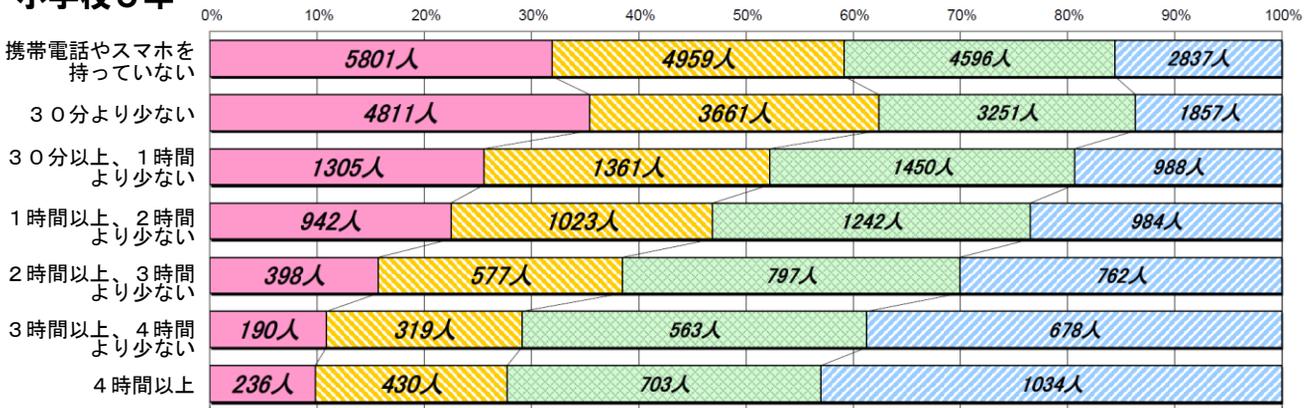
縦軸カテゴリー	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをしますか。
横軸カテゴリー	学力階層 算数・数学

■ 上位25%
 ■ 上位26～50%
 ■ 下位26～50%
 ■ 下位25%

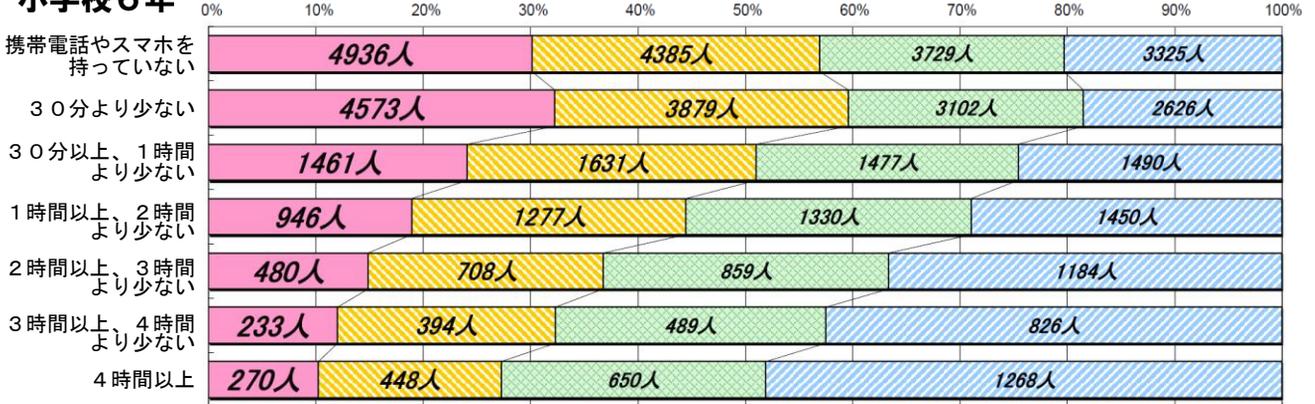
小学校4年



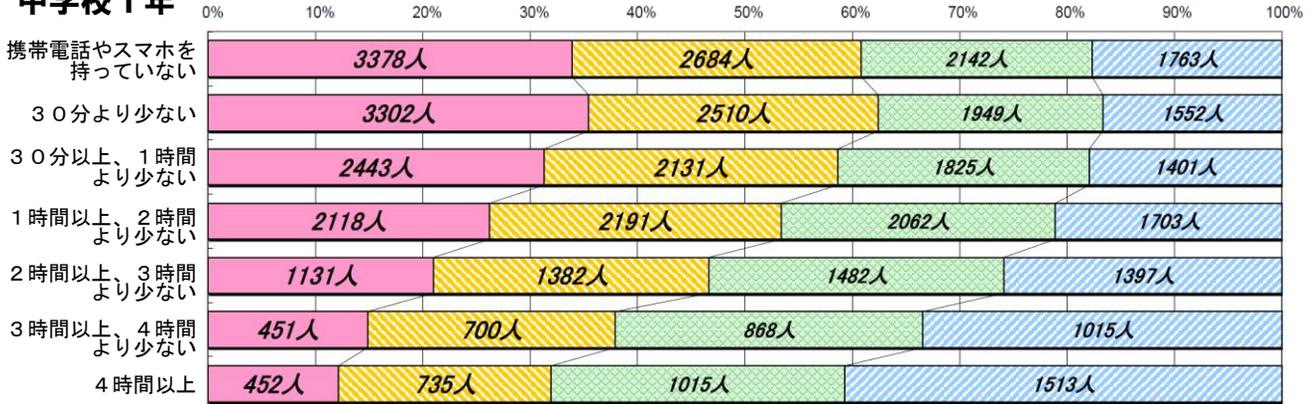
小学校5年



小学校6年

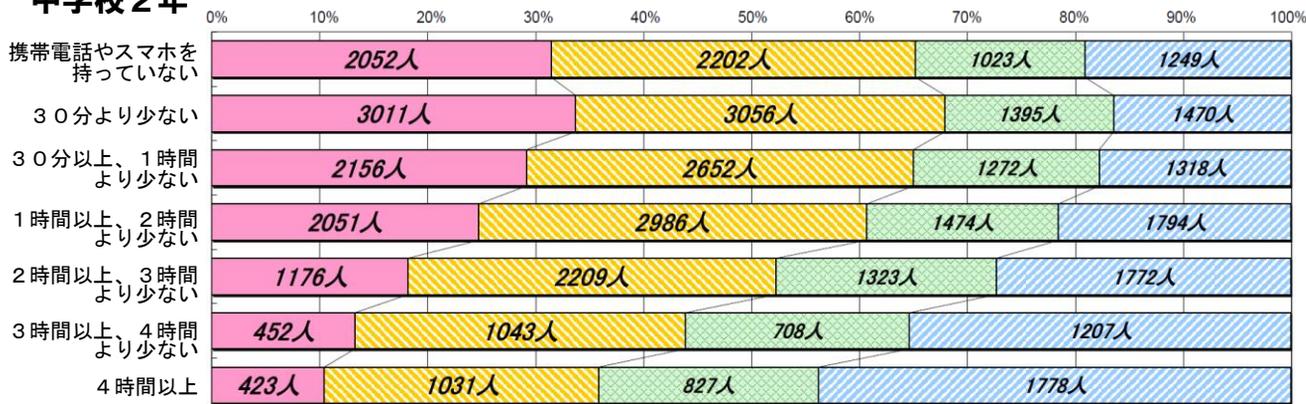


中学校1年



■上位25% ■上位26~50% □下位26~50% □下位25%

中学校2年



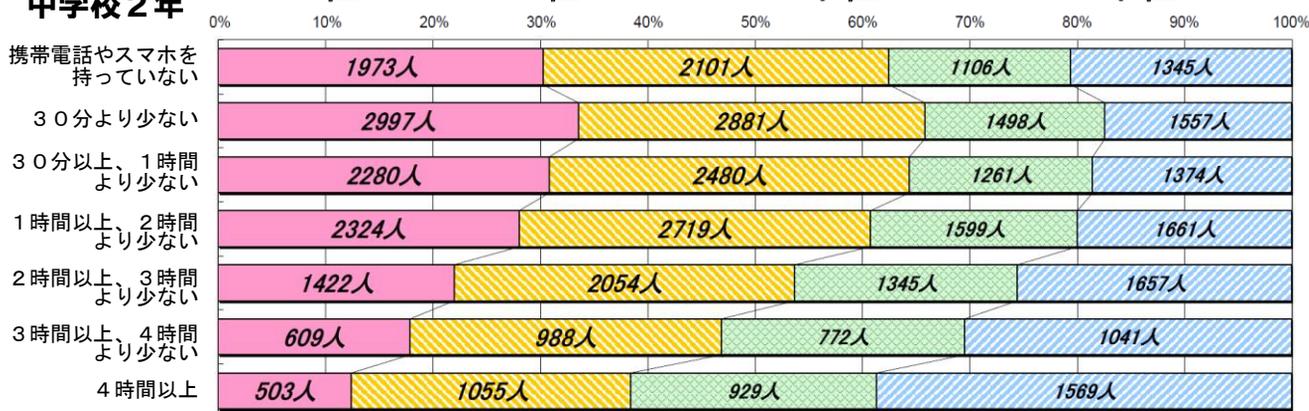
中学校3年



縦軸カテゴリ	普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをしますか。
横軸カテゴリ	学力階層 英語

中学校2年

■上位25% ■上位26~50% □下位26~50% □下位25%



中学校3年

